

校訓：高く 明るく たくましく

Vol. 10

学校だより

平成30年12月21日

狭山市立入間野中学校

学校教育目標：志高く 心豊かに 自らを鍛える生徒 校長 尾澤 栄一

平成最後の師走に思う 今学期もありがとうございます。

記録的な猛暑続きの夏から早くも四か月が経ち、今年も木枯らしが舞う季節と慌ただしい年の瀬が巡ってきました。平成最後の師走です。加速度的に進むAIの進歩とグローバル社会の到来である新しい時代はどんな社会になることでしょうか。来る新年号の時代は、私たちの教え子たちが支えることとなります。だからこそ教育における不易の部分をしっかり継承し、新しい社会に通じる人を育てることの責務を実感しているところです。

先日行われた情報モラル教室では、講師の先生の素晴らしいコーディネートにより生徒、保護者、教員がそれぞれの立場でネット社会の問題点を考えることが出来ました。便利な世の中は、必ずしも人を幸せにするものではありません。便利であればこそ、その反面、大きな落とし穴もあります。このことを機会に家族でネット利用にあたってのルール等を見なおしていただきたいと思います。引き続き本校では、情報モラルについて取り組み、安心して学校生活を送れるよう配慮していきたいと思っています。

さて、大量消費社会、成長社会が陰りを見せつつある今日、社会は「モノの豊かさからコト、心の豊かさへ」とシフトしています。今学期、3年生一人一人と受験に向けての面接をしました。その中で「将来どんな仕事がしたいですか」「どんな大人になりたいですか」という質問をしたところ、「人を幸せにしたい」「人を笑顔にしたい」と人とのつながりを大切にしたいという人が多くいたことが嬉しかったです。このことは、いじめゼロ宣言の取り組み、感謝の集いなど、人を大切にし、思いやる心を育てる体験的な行事の成果が生徒の心に反映してきていることの証だと思っています。

私は、人を幸せにするすべを熟考し試みようとする行為を育てることが教育のひとつの使命だと考えています。今学期も様々な行事を通して教室での座学では学べないことを生徒と共に体験しました。そこでの体験は、見えない学力として蓄積され、各々の生きる力と好奇心と意欲へと転換していくことと思います。受験に勝つ学力とは違い、体験で得た学力は、創造的な社会づくりの原動力となります。今後も新時代の中核をなす現中学生に教員、保護者、地域の方々が共にエールを送っていただけることを切に願っています。来年、亥の年がみなさまにとって幸せな年となりますように、よいお年をお迎えください。



保護者の皆様へ

先日は、学校評価のご協力ありがとうございました。頂いた評価は、謙虚に受け止めて全教職員で共有し、次年度の教育活動に活かしていきたいと思っています。教職員の評価と生徒のアンケートを加味し、学校評議員の皆様にご協力いただき学校関係者評価をしていただき3月にホームページ、学校だより等で公表をしていきます。

情報モラル教室

「君たちの生活を見直そう ～SNSの怖ろしさ～」

講師 笠松 直美先生(埼玉県ネットアドバイザー)

すでに学校だよりや保護者への通知、保護者会での話の中でも折に触れてきましたが、昨今、中高生によるネットトラブルが多く報告されています。SNSによる問題やネット依存症については、マスコミ等でもその有害性が指摘されています。情報化社会の中において、インターネット、スマホ等の利用は、私たちの生活を豊かなものに行っていることは否めません。しかし、便利なものほど正しい使い方を熟知していなければなりません。本来、スマホ等は、中学生には必要はないものですが、将来のことを考えると正しい使い方とその危険性については、知らないで済まされるものではありません。今年度本校では一学期より情報モラルの指導を行ってきました。先日は、保護者を交えて、埼玉県ネットアドバイザーである笠松直美先生をお招きし講演をしていただきました。これを機に情報モラルについての啓発教育を引き続き行い、情報化社会を賢く生き抜く子供たちの育成に努めてまいります。



【生徒の感想】から

○私は一年前にスマホを買ってもらいました。もちろん親に買ってもらいました。せつかく買ってくれた親を悲しませないためにもスマホの怖ろしさをしっかりと理解して使わなければならないと改めて思いました。たった一つの判断ミスが将来死ぬまで自分を追い込む存在となる怖ろしさを今日学びました。必要最低限しかスマホを使わないようにします。 1年女

○私は今回の話を聞いて、SNSは怖いものだということがわかりました。私はインスタをやっていて投稿をしています。それで個人情報が見つかると思うと少し怖いと思いました。スマホをいじっているだけで集中力が低下し脳が悪くなると知って気を付けたいです。SNSの使い方に関心を付けて親に迷惑をかけないようにしたいです。 2年女

○私は中学校一年のころからスマホを持ち始め、今はLINEもインスタもほとんどのアプリを利用しています。使い始めたころから多くの方が写真や名前をそのままアップしていたからそれが当たり前になりかけていました。私はアップしたことはないけどアップしたことは一生消えないということは怖いことです。自分は何歳までスマホは必要はないという考えはありません。どの年齢でも自由に使っていいと思います。自分がスマホを使う上で何に注意したらいいのかを今回の話で学びました。 3年女



考えよう 家族みんなで スマホのルール

私たちは子供たちの
情報モラル育成に取り組みます

入間野中学校



文部科学省

ご覧ください

本校生徒の活躍している様子が狭山ケーブルテレビで放映されます。

第34回狭山市綱引き大会ダイジェスト

1月1日(火)～7日(月) 20時～22時予定

狭山市小中学校音楽会 中学校の部 12月27日(木)～31日(月)

20時～22時